

独立行政法人国立文化財機構

# 京都国立博物館パンフレット

2022

KYOTO NATIONAL MUSEUM



ごあいさつ

当館は、日本文化伝統の地である京都東山の一角に位置し、京都の文化財を中心に、わが国の伝統文化を大切に守り伝え、同時にその類いまれな価値や魅力を国内外へ広く発信することを大きな目的としてきています。

文化財の収集保管と保存修復を基盤としながら、調査研究活動に裏付けられた多彩な展示や教育普及事業を行い、各種のイベント・講座を実施すると共に、国内外の様々な機関と連携を図るなど、昨今の激動の情勢にあっても、常に高水準の活動を維持すべく努めています。そして、近年とくに重要性の増している情報化や国際化への対応も深めながら、探求や創造の場、癒しの空間、教育の拠点、さらに観光の足場など、地域に根ざしつつ、誰にでも親しまれ、楽しんでいただけるような博物館を目指しています。

京都国立博物館長 松本伸之



重要文化財  
縹系威胴丸 兜・大袖付 附旗一旒



獅子・狛犬



重要美術品  
埴輪 男子像



色絵水裂文角皿  
尾形乾山作



国宝  
芦手絵和漢朗詠抄



榎鹿時絵螺鈿硯箱・料紙箱  
永田友治作



竹虎図  
尾形光琳筆

京博のお仕事を  
一緒に見にいぐりん



京都国立博物館 公式キャラクター  
**トラりん**

京博所蔵の尾形光琳筆「竹虎図」(江戸時代・18世紀)から生まれたよ！  
本名は、尾形光琳の幼名「市之丞」から拝借して虎形琳ノ丞、略して「トラりん」

京の文化を守り伝える

京都国立博物館(京博)は、館蔵品約8,300件と社寺などからの寄託品約6,600件を収蔵し、貴重な文化財を後世へ伝えるための様々な取り組みを行っています。ここではその名品の一部をご紹介します。



重要文化財  
菊に棕櫚文様帷子

## 収集・保管 — 平安時代から続く京都文化を未来に

京博は設立以来、社寺に伝承してきた多数の宝物を寄託品としてお預かりし、安全な環境で保管・公開してきました。あわせて京都文化を中心とした美術工芸品をはじめとする文化財を購入や寄贈により収集し、館蔵品の数を年々増やしています。調査過程で見出された作品を新たに収蔵するなど、日々の研究の成果もみられます。

### 令和3年度新収品例



重要美術品 北野本地絵巻断簡



褐袖四方茶入 野々村仁清作



太刀 銘(菊紋)和泉守来金道 運奉 鈞命孝保庚戌年於京師二柄ヲ打一柄ハ猷シ一柄ハ則是也

### 収蔵品件数推移

	館蔵品	寄託品	計
H29年度	7,977	6,235	14,212
H30年度	8,075	6,434	14,509
R1年度	8,130	6,520	14,650
R2年度	8,150	6,547	14,697
R3年度	8,279	6,562	14,841

先人から託された「文化財」を後世に受け継いでゆく、これは博物館の重要な役割ですが、簡単ではありません。文化財は人々が何らかの価値を見だし、残そうという意志を共有することで、はじめて世代を越えて伝えられるからです。そのため、文化財の収集とともに、これらに関連する写真や図書、展示や修理の履歴といった「情報」を丹念に紐付ける作業も大切だと思っています。



列品管理室長 羽田 聡

寄託品も館蔵品も 毎年ふえているんだリン

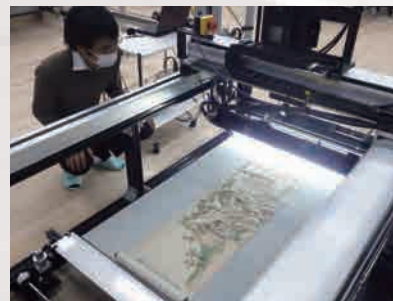


## 保存・修理 — 伝統技術と科学技術の融合

京博にある文化財保存修理所は、指定文化財を安全に修理することを目的に、日本で初めての公営修復施設として昭和55年(1980)に設置され、今日に至るまで数多くの修理を行ってきました。文化財修理そのものには長年培われてきた伝統技術が使われていますが、材料分析などには最先端の科学機器が使用されています。京博には、X線CT装置や分光分析装置、携帯型X線回折装置等の最新機器による科学調査を行う専門部署があります。肉眼では確認できない文化財内部の画像や、絵具の成分等の調査結果をもとに、修理技術者と研究員が相談しながら、50年、100年先を見据えた修理方針を考え、日々の修理に活かしています。



蛍光 X 線分析調査



赤外線オロン画像撮影

日本の文化財は、その素材の性質から、約100年に一度は修理しないとイケないものがあります。文化財の修理では、制作当時の情報を大切に残す必要がありますが、使われている材料の性質をよく理解し、修理でその情報を損なわないようにしなければなりません。科学的合理性があれば、新しい技術や素材も導入し、よりよい修理を目指す必要があります。そのため、保存科学室の協力を得て、修理に際して科学分析を行うなどし、未来のためにその成果を発信しています。



保存修理指導室長 大原 嘉豊

文化財を守り 未来に伝えるための お仕事なんだよ!



## 展示 — 名品と出会う

平成知新館では、名品ギャラリー(平常展示)と特別展を交互に開催しています。名品ギャラリー(平常展示)では、陶磁・考古・絵画・書跡・工芸・彫刻の分野ごとに展示室があり、約15,000件の収蔵品から選んだ作品が様々なテーマで展示されています。



特別展  
凝然国師没後700年  
鑑真和上と戒律のあゆみ  
令和3年(2021)  
3月27日(土)～5月16日(日)  
4月25日(日)～5月11日(火)は臨時休館



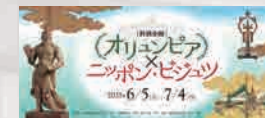
特別展  
京(みやこ)の国宝  
一守り伝える日本のたから—  
令和3年(2021)  
7月24日(土)～9月12日(日)



特別展  
嵐山記念館の名品  
—能楽から茶の湯、そして琳派—  
令和3年(2021)  
10月9日(土)～12月5日(日)



虎ブログで 展示作品も 紹介しているリン



特別企画  
オリュンピア×ニッポン×ビジュツ  
令和3年(2021)  
6月5日(土)～7月4日(日)



特集展示  
新収品展  
令和4年(2022)  
1月2日(日)～2月6日(日)



新春特集展示  
寅づくし—干支を愛でる—  
令和4年(2022)  
1月2日(日)～2月13日(日)



特集展示  
後期古墳の実像  
—播磨の首長墓・西宮山古墳—  
令和4年(2022)  
1月2日(日)～2月13日(日)



特集展示  
猫まつりと人形  
令和4年(2022)  
2月19日(土)～3月21日(月・祝)

## 調査研究 — 文化財を知り、博物館活動の根幹を支える

収集、展示、修理、教育普及、どれにとっても文化財の調査研究は欠かせません。京博では京都市を中心とした近畿地方の古社寺の文化財悉皆調査を昭和54年(1979)から実施し、報告書「社寺調査報告」を刊行しています。継続して収蔵品等についての調査研究を行い、その成果は展示や研究紀要「学叢」を通じて公表しています。博物館で目にする全てに調査研究の成果があらわれています。



社寺調査の様子

博物館の とっても大切な お仕事なんだリン



学芸部長 尾野 善裕

博物館活動の中核は、かくあるべきだという理念の下、京博では伝統的に館の内外を問わない文化財の実地調査と、調査成果に基づく研究を重視してきました。既に知られた名品の保管・紹介にとどまらず、まだ世に知られていない貴重な文化財の存在に光を当てていくこともまた、私たちの重要な使命だと考えています。

## 地域連携・国際連携 — 京都でつながる、世界とつながる

京都ミュージアムズ・フォー、京都市内博物館施設連絡会等に参加し、地域との連携や貢献に努めています。また、アメリカのサンフランシスコ・アジア美術館との学術交流基本協定、京都大学大学院人間・環境学研究所との連携・協力協定など、学術的・国際的な連携に取り組んでいます。令和3年度に、セインズベリー日本藝術研究所と協力してオンラインで開催した京都国立博物館国際シンポジウム「敦煌写本研究の現在」では、欧州・北米・中国・日本の研究者が事例報告および研究発表を行い、日英中の同時通訳を通して世界中から1,000名を超える方の参加を得られました。

日本や海外の様々な博物館と協力して展示を行ったり、大学をはじめとした研究機関などと共同で研究を行ったりと、様々な機関と連携しながら、京博の展示や研究成果を多くの皆さんに知っていただけるようにしています。

京都国立博物館国際シンポジウム 「敦煌写本研究の現在」



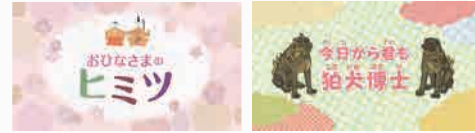
調査・国際連携室長 降矢 哲男

みんなの力で 盛り上げて いるんだリン



## 教育普及 — 文化財を知り、文化財に親しむ

より深く文化財や展示について知りたい方のために、研究者による土曜講座や記念講演会、夏期講座を開催しています。また京都市立の小中学校を訪問し、高精細複製を用いた「文化財に親しむ授業」も行っています。訪問授業で講師を務めるのは、スクリーングを受けた大学生・大学院生の「文化財ソムリエ」です。さらに、子どもから大人まで楽しめる、展示に合わせたやさしい鑑賞ガイドやワークシートの配布、動画などのオンラインコンテンツの公開も行っています。



YouTube京博チャンネル  
左:動画「おひなさまのヒミツ」  
右:動画「今日から君も狛犬博士」

教室では、気軽に体験したい人から、より深く知りたい人まで、さまざまな人に博物館を楽しんでいただくための取り組みをしています。活動の場所は、博物館の中だけにどまりません。印刷物や動画は多言語(日・英・中・韓)で制作しています。

教育室長  
永島 明子



夏期講座



文化財ソムリエの訪問授業



障がいのある方のための特別鑑賞会



留学生の日



1. ガイド「京都国立博物館へようこそ!」
2. ワークシート「さがしてみよう! こんなトラ」
3. 鑑賞ガイド「京の国宝はじめてガイド」
4. 鑑賞ガイド「歴史の舞台! 観心寺と金剛寺」

鑑賞ガイドでボクも一緒に勉強しているよ

### 持続可能な社会の実現に向けた博物館宣言

京博では、博物館運営にSDGs(持続可能な開発目標)の考えを取り入れ、プラスチック使用や温室効果ガスの排出削減など地球環境の保全に取り組むとともに、ジェンダーバランスにも考慮しつつ、障がい者や高齢者、外国人など多様なに優しい博物館づくりを推進しています。



副館長  
栗原 祐司

## イベント & ユニークベニュー — 京博の新しい一面を知る

普段は博物館に親しみがない方も気軽に足を運んでいただけるよう、らくご博物館や京都の伝統芸能等の様々なイベントを実施しています。土日・祝日にはPR大使のトラりんが館内に登場します。明治古都館の中央ホール、平成知新館講堂、庭園、茶室など施設の一部は貸出可能です。結婚式やコンサート、また、ドラマやCM、雑誌、商品カタログのロケーションとしてもご利用頂いています。



ボクも京博のお仕事がんばっているリン!



京都・らくご博物館



雅楽演奏会



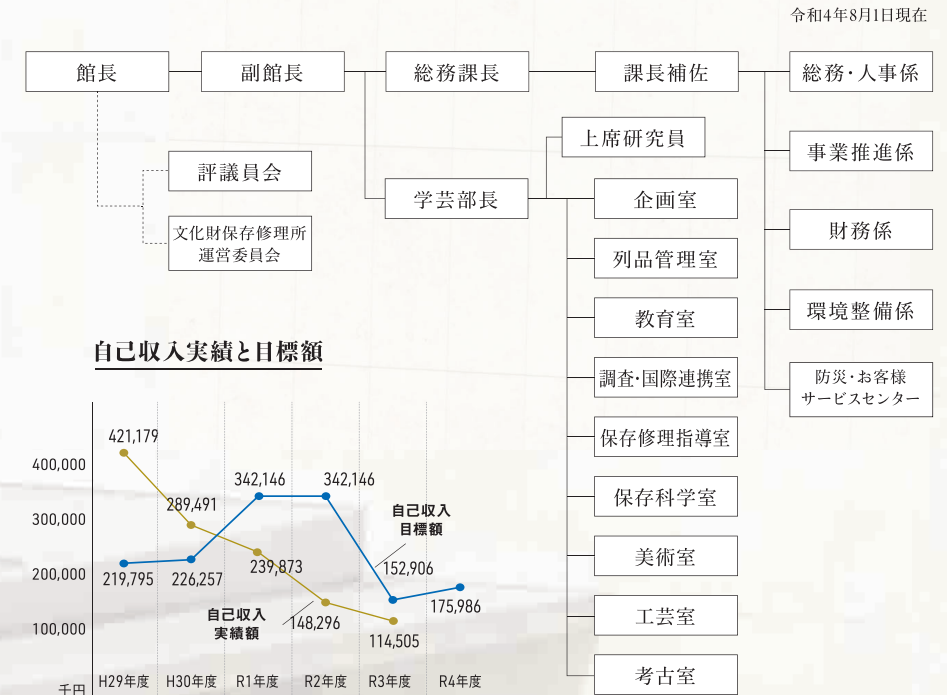
秋の華道



芸舞妓とトラりん(芸舞妓 春の舞)

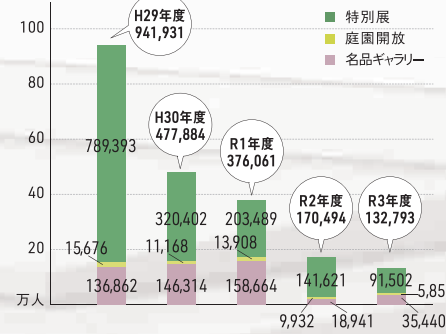
## 組織と運営 京博は4国立博物館、2文化財研究所、1センターの7施設からなる独立行政法人国立文化財機構の一施設です。

職員数 | 78人  
**常勤職員**  
 一般職 | 21人  
 労務職 | 5人  
 研究職 | 21人(※館長含む)  
**非常勤職員**  
 アソシエイトフェロー | 7人  
 補佐員 | 24人

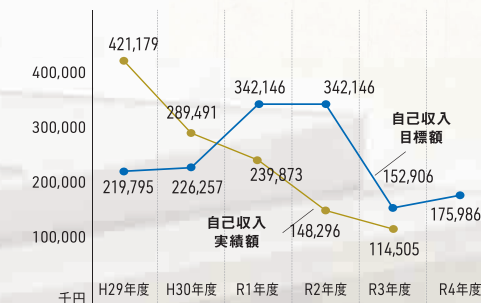


令和4年8月1日現在

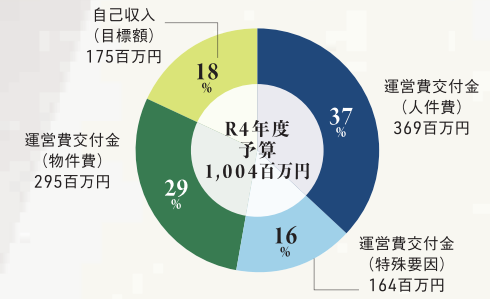
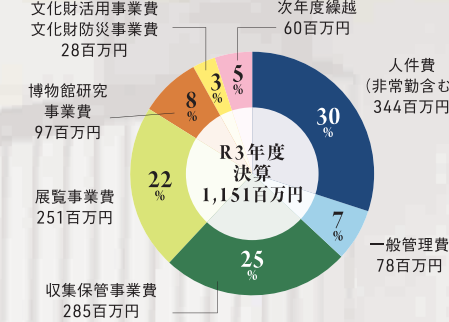
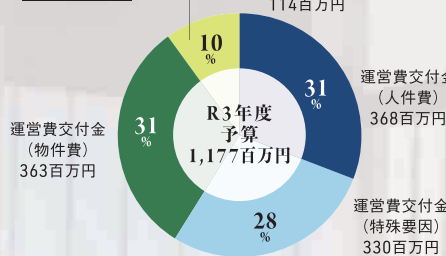
### 入館者数推移



### 自己収入実績と目標額



### 予算・決算



### ミュージアムパートナー

京博ではミュージアムパートナー制度を設け、その諸活動に対し、幅広いご支援を頂いております。

[ゴールド]  
 土屋和之  
 株式会社 SCREEN ホールディングス  
 株式会社 倭  
 NISSHA 株式会社

[シルバー]  
 有限会社 竹内美術店  
 学校法人 二本松学院

[ブロンズ]  
 原田清朗  
 令和4年8月1日現在

### キャンパスメンバーズ

キャンパスメンバーズは、国立博物館と大学等との連携を図り、博物館が収蔵する文化財を核として文化や歴史を共に学ぶ場を提供する会員制度です。

学校法人 瓜生山学園 / 追手門学院大学 / 国立大学法人 大阪大学 / 大阪大谷大学 / 大谷大学 / 学校法人 大手前学園 / 学校法人 関西大学 / 学校法人 関西学院 / 国立大学法人 京都大学 / 学校法人 京都外国語大学 / 国立大学法人 京都工芸繊維大学 / 学校法人 京都産業大学 / 学校法人 京都女子学園 / 京都市立芸術大学 / 京都精華大学 / 京都先端科学大学 / 京都橘大学 / 京都府立大学 / 近畿大学 / 国立大学法人 滋賀大学 / 四天王寺大学 / 就実大学 / 成安造形大学 / 学校法人 大覚寺学園 / 帝塚山大学 / 学校法人 同志社 / 奈良大学 / 奈良女子大学 / 国立大学法人 奈良先端科学技術大学院大学 / 学校法人 二本松学院 / 花園大学 / 佛教学 / 学校法人 立命館 / 龍谷大学

令和4年8月1日現在

みんないつもありがとうリン



お申し込み・お問い合わせ先 総務課事業推進係 tel.075-531-7504

### 清風会

京博の行う事業を援助し、その発展充実を図ると共に、鑑賞会や見学会等を通じて会員の文化財に関する知識を深めることを目的とする団体です。

お問い合わせ先 一般社団法人清風会 tel.075-585-5201 (土日祝日休み)

# 明治古都館(本館)改修

京都国立博物館明治古都館(本館)は、明治28年(1895)に竣工し、明治30年(1897)に帝国京都博物館陳列館として開館して以来、有形文化財(美術工芸品)の収集・保管・展示を行う施設として、多くの方々に親しまれてきました。

まさに京都国立博物館のシンボルともいえる建物です。

建物の外観・内部空間共に創建当時の姿をよく保っていること、

設計者片山東熊の代表的な作品であること、

明治期の煉瓦造建築として優れた意匠を見せていること、

創建当時の表門や袖塀が一体に残ること等から、

明治文化史上の価値が認められ、

昭和44年(1969)に重要文化財(建造物)に指定されました。

現在は、当地で発生が予想される大規模な地震による

被害に備えるための耐震対策(免震等)、

文化財展示施設としての環境向上および文化財建造物としての

大規模修理等を実施すべく各種調査・計画策定を行っています。

近年の発掘調査では豊臣秀吉が創建、息子秀頼が再建した

方広寺に関する遺構等の発見もありました。

今後、「土地の歴史の継承と明治建築の保存」を行いつつ、

「日本の至宝を展示するにふさわしい環境を備えた、

誰もが利用しやすい博物館への再生」に向けた整備を行ってまいります。

売之今拾五

KYOTO  
NATIONAL MUSEUM

お問い合わせ先

京都国立博物館

〒605-0931 京都市東山区茶屋町527

tel.075-525-2473(テレホンサービス)

<https://www.kyohaku.go.jp/>

